

# 西日本旅客鉄道株式会社から市へ寄附

## 原遺跡を見える丘として整備

市の西部に位置し、新幹線の車両基地「JR西日本博多総合車両所」を望む丘に位置する市指定史跡「原遺跡」。この用地は、長年にわたり西日本旅客鉄道(株)から市が無償で貸与を受け、保全してきました。

2月17日、この原遺跡の用地を市民共有の財産として、市に寄附することで合意し、目録贈呈式が行われました。



▲原遺跡からの眺望

▲原遺跡(白水ヶ丘6-147)

### 寄附の概要

市西部地区のスポーツ・レクリエーション拠点施設として、西野球場とその北側隣接地を一体的な多目的広場公園とするため、市は計画的に整備を進めており、この公園の西側部分に原遺跡が存在します。

市は当初の公園の計画段階から、博多総合車両所を望める立地を生かした活用方法を検討していました。このたび、西日本旅客鉄道(株)以下、JR西日本)が、原遺跡の用地を寄附することで市西部地区の活性化を図ることができるかと判断され、市は原遺跡の用地の寄附を受けることとなりました。

### 原遺跡とは

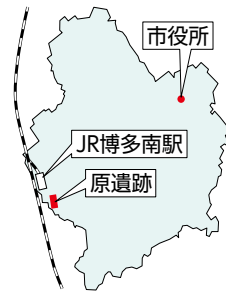
昭和49・50年度に福岡県教育委員会が発掘調査し、弥生時代中期(約

2200年前)の甕棺墓を主体とした墳墓が200基以上見つかった遺跡です。

平成8年度に市指定史跡となり、令和3年度に指定地の東側を市教育委員会が発掘調査し、甕棺墓を主体とする墳墓を確認しました。2回にわたる調査で、東西約25m、南北45mの墓域の範囲を特定することができました。

### 目録贈呈式

JR西日本福岡支社長の魚本佳秀さんから井上市長へ目録が手渡されました。魚本支社長は「春日市とJR西日本にとって新たなスタートであり、これを機に両者の連携を一層深め、新幹線をテーマにしたふるさと納税返礼品の開発、立地適正化計画会議への参画などを進めてまいります」と話しました。これを受けて井上市長は感謝の意を



問い合わせ先 都市計画課公園担当  
☎(584)1111(代)  
☎(584)1143

表するとともに、「原遺跡の保全・活用との調和を図りながら、博多総合車両所に整然と並ぶ新幹線を眺望できる展望台の設置や歩道・駐車場の整備などの施設拡充を図り、多くの皆さまが集い、喜んでいただける公園となるよう、事業を進めてまいります」と決意を述べました。



▲目録を受領した井上市長(左)と魚本支社長